

令和四年十一月八日

第三十八回
産業功労者表彰

事
績
概
要

三
重
県

水^{みず}

谷^{たに}

隆^{たかし}

津
市



事績概要

氏は、昭和五十二年に後継者として就農して以降、自家のきゅうり栽培では産地育成を行い、農産加工品を開発するとともに、仲間と連携した県内有数規模のいちごの観光農園の経営に精力的に取り組み、地域の活性化に大きく貢献した。

また、設立した二社の農業法人では、農業研修生の受入や非農業者の雇用・役員登用を積極的に行い、多くの新規就農者を育成したほか、長年にわたり、県が認定する青年農業士、指導農業士を務めるとともに、津安芸農業協同組合の要職を歴任し、農業界全体の発展に尽力した。

さらに、氏が居住する地域の活性化を目的とする地域おこし団体では、設立当初から中核的な存在として長年にわたり取り組んでいる。

このように、氏の地域農業の振興発展と人材育成に寄与した功績はまことに顕著である。

宮^{みや}
木^き
康^{やす}
光^{みつ}

津
市



事績概要

氏は、平成十年より株式会社栄屋理化代表取締役社長に就任し、理化学機器の流通を担うことで製造業や医療分野における社会的課題の解決に貢献している。

また、協同組合津卸商業センター理事長として、組合員の経営の合理化・近代化を図るため研究会や講習会を率先して実施するとともに、連棟式建物及び構築物の老朽化による再整備を行うため、卸商業団地機能向上支援事業を中心となって実施するなど、卸商業団地の発展に寄与している。

さらに、三重県中小企業団体中央会副会長として、時勢に応じた中小企業支援施策を積極的に展開するほか、公益社団法人津法人会や安濃津よさこい組織委員会の役職を務め、地域文化の振興に尽力している。

このように、氏の業界と地域産業の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

坂^{さか}
田^た
巧^{たくみ}

伊
勢
市



事
績
概
要

氏は、宮内庁御用達の老舗割烹「大喜」を営みながら、平成六年に社団法人伊勢市観光協会（現 公益社団法人伊勢市観光協会）会長に就任し、神宮を中心としたボランティアガイド組織「お伊勢さん観光ガイドの会」の創設、「伊勢弥生楽市」の企画開催を行ったほか、世界祝祭博覧会では案内ブースへの人員配置など、伊勢の観光進化に寄与した。

また、平成九年より外宮にぎわい会議の副会長、会長を歴任し、「外宮さんゆかたで千人お参り」の実施及び運営に献身的に取り組み、伊勢市の観光客誘致に貢献している。

さらに、伊勢商工会議所常議員や伊勢ロータリークラブ会長など地域の公的な要職を務め、地域の発展と文化の保全に尽力している。

このように、氏の観光と地域産業の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

野の
村むら
禮れい
子こ

鳥
羽
市



事
績
概
要

氏は、平成十六年に海女小屋「はちまんかまど」の海女頭として、海女仲間とともに日本で初めて実際に使用している海女小屋を開放した。海女小屋体験サーブिस事業を開始したことにより、「海女」を観光商品として誘客する取組が生まれる契機となり、海女が観光資源として認識され、三重県のインバウンド誘客を牽引する役割を担っている。

また、県内の児童、生徒をはじめ、都市部や海のな
い地域の学校から生徒を受け入れ、海女文化の体験や
食育の場として子どもたちの体験活動、教育旅行に貢献す
るほか、アメリカから高校生が七回にわたり海女小屋
「はちまんかまど」を訪れ、海女と交流し、海女文化
にふれるなど国際交流を行っている。

このように、氏の観光と地域産業の振興発展に寄与
した功績はまことに顕著である。